



別府の湯けむり



8/23 金曜日 8/24 土曜日  
コンパルホール

参加申込み  
締切り  
7月末  
オンラインは  
当日まで

## 「地方自治を手放さない」－人口減少社会の民主主義－

### 基調講演

「人口減少が及ぼす影響と自治体議員の役割」  
前田隆夫さん(西日本新聞論説委員)

「誰もが安心して暮らしていける地域社会とは」  
徳田靖之さん(弁護士)

### パネルディスカッション

「人口減少の中、地域をどのように豊かにしていくのか」

福嶋浩彦さん(中央学院大学教授、元消費者庁長官、元我孫子市長)  
前田隆夫さん(西日本新聞論説委員)  
徳田靖之さん(弁護士)  
上原公子さん(自治体議員政策情報センター長、元国立市長)※コーディネーター

分科会 1 | 水俣病からPFAS  
永野三智さん(相思社理事、水俣病患者連合事務局長)

分科会 2 | 孤独、孤立からの脱却  
奥田知志さん(NPO法人抱樸理事長 東八幡キリスト教会牧師)

分科会 3 | ユース・セッション「私の“生きたい”未来」  
立命館アジア太平洋大学学生

分科会 4 | 食育とそれを支える生産者  
堀田貴子さん(管理栄養士、大分県食育コーディネーター、食育ネット・たけた食研究会メンバー)

主催/全国政策研究集会2024in大分実行委員会  
共催/自治体議員政策情報センター 虹とみどり 平和・立憲・人権をつなぐ全国自治体議員会議

会場 **コンパルホール**

<http://www.compalhall.jp/>

大分県大分市府内町1丁目5番38号  
Tel 097-538-3700 Fax 097-534-4049  
E-Mail [info@compalhall.jp](mailto:info@compalhall.jp)



### 参加費(1日でも2日でも)

- 政策情報センター会員議員—— 5,000円
- 非会員議員(区市議・都道府県議)——10,000円
- 首長—— 5,000円(協賛費)
- 小規模自治体議員(5万人以下)—— 3,000円
- 町村議(会員、非会員問わず)—— 3,000円
- 一般—— 1,000円
- 学生—— 無料

※オンラインの場合も参加費は同じです。

### 申し込み方法

右QRコードから  
お申し込みください。



参加申込み  
締切り  
7月末  
[https://us02web.zoom.us/join/register/WN\\_jg0SKNeeQ0-Kpi8hEMRSrQ](https://us02web.zoom.us/join/register/WN_jg0SKNeeQ0-Kpi8hEMRSrQ)  
オンラインは当日まで  
お申し込みいただけます。

### 参加のお申し込み、お問い合わせは



自治体議員政策情報センター  
**虹とみどり**

<http://www.greens.gr.jp/jouhou/index.html>

〒700-0971岡山市北区野田5-8-11 かつらぎ野田ビル2F  
自治体議員政策情報センター・虹とみどり  
電話 086-244-7723 Fax 086-244-7724  
[jichitaijinjouhou@gmail.com](mailto:jichitaijinjouhou@gmail.com)



# 「地方自治を手放さない」 — 人口減少社会の民主主義 —

8/23 金曜日 受付 12:00~

基調講演

## 人口減少が及ぼす影響と自治体議員の役割 13:15~14:25

前田隆夫さん (西日本新聞論説委員)

人口減少は地方自治体にどのような影響を及ぼしているか、地方で起こっていること、その現状から自治体議員に求められる役割についてヒントをいただきます。

基調講演

## 誰もが安心して暮らしていける地域社会とは 13:15~14:25

徳田靖之さん (弁護士)

人口減少の中において、誰もが安心して暮らしていける地域社会をつくるため自治体議員に求められる役割は何か。駅無人化反対訴訟、薬害エイズ訴訟、旧優生保護法訴訟、HPVワクチン訴訟など常に社会的弱者に寄り添って取り組み続ける徳田弁護士のお話をもとに一緒に考えます。

パネルディスカッション

## 人口減少の中、地域をどのように豊かにしていくのか 14:30~16:10

パネリスト 福嶋浩彦さん (中央学院大学教授、元消費者庁長官、元我孫子市長)  
前田隆夫さん (西日本新聞論説委員)  
徳田靖之さん (弁護士)

コーディネーター 上原公子さん (自治体議員政策情報センター長、元国立市長)

人口減少の中、公共交通や老朽化する道路、公共施設などをどう再生するのか。また子育て・医療・介護等のニーズにどう応えていくのか。これまでの右肩上がりの発想による政策は通用しません。社会の仕組みを小さくして質を高める必要があります。またそれには、多様な市民が知恵を出し合う対話の民主主義が重要です。これを実現できるのは地方自治に他なりません。住民や自治体議員の役割を話し合います。

1 分科会

16:20~17:40

## 水俣病からPFAS

<講師> 永野三智さん (相思社理事、水俣病患者連合事務局長)

報告 「PFAS：岡山県吉備中央町の事例から」 大塚愛岡山県議より

今を生きる私たち一人ひとりの日常は、水俣病と接しています。水俣病事件を通して現代社会を見つめる時、PFASや放射能などの現代の環境汚染問題が見えてきます。水俣病の発生の責任がチッソ (現JNC) にあることは明白ですが、その後の拡大には、国が大きく関わっています。また、今日に至るまで解決ができない原因は政治にあります。生活者の生存と健康、尊厳を脅かすものと政治の接点、水俣病の当事者運動が社会に投げかけたものは何かを問います。

2 分科会

16:20~17:40

## 孤独、孤立からの脱却

<講師> 奥田知志さん (NPO法人抱樸理事長 東八幡キリスト教会牧師)

大学時代に、先輩に連れられて大阪の釜ヶ崎で日雇い労働者を支援する活動に参加したのをきっかけにホームレス支援を始めた奥田さん。現在は「助けてと言えるまちづくり」「家族機能の社会化」「まち全体で子どもを育てる」をめざして、北九州市に様々な機能を持った複合型社会福祉施設「希望のまちプロジェクト」に取り組んでいます。「貧困」の現状と奥田さんのプロジェクトのお話から全国の自治体にその取り組みが広がることを期待します。

交流会

18:00~20:00 多目的ホール

## 交流会

挨拶

12:50~

上原公子さん (自治体議員政策情報センター長、元国立市長)



上原公子



前田隆夫



徳田靖之



福嶋浩彦



永野三智



奥田知志

多くの自治体で人口減少が進み、昨年の出生数は75万人という衝撃。子育て・医療・介護など多くの分野で、従来サービスの量的拡大ではなく、誰も取り残さない根本からの再構築が求められています。公共交通や公共施設、さまざまなインフラも同様に質的充実が求められます。当然、実現させたい質は地域によって全部違いますから、地域の人が自分たちの責任で考え、決定し、実行していく以外にありません。人口減少社会にこそ地方自治は不可欠です。しかし一方で、不安定な国際情勢や感染症対策を口実に国の権限を強める動きもあります。私たちは地方自治を進化させるためにどうすればよいか、人口減少が続く大分の地で共に考えたいと思います。

8/24 土曜日 受付 9:15~

3 分科会

9:30~10:50

## ユース・セッション「私の“生きたい”未来」

立命館アジア太平洋大学学生

現代社会が抱える課題は、有効な解決策が見いだせないまま次代を担うユースたちに手渡されようとしています。ユースたちが歩んでいく「未来」に光はあるのか。本分科会では、立命館アジア太平洋大学の学生たちが「私の“生きたい”未来」のために、彼らが考える政治の役割や政策などを彼ら目線で考え、みなさんに提案します。ユースと参加者として意見交換しながら、改めて政治の役割を考えます。



4 分科会

9:30~10:50

## 食育とそれを支える生産者

堀田貴子さん (管理栄養士、大分県食育コーディネーター、食育ネット・たけた食研究会メンバー)

ひとたび何かが起こった時、食料自給率の低い日本は世界から見ても大変脆弱です。便利なモノやコトの裏側には、失いつつある食文化や、食そのものがあります。地域に根ざした料理教室、地域食の伝承に力を入れ、食を通した健康・地域づくり、国を越えた食育活動を行っている講師と共に、持続可能性のある食とそれを支える生産者について、これから私たちに出来る事を、共に考えます。



堀田貴子

まとめの全体会

11:00~11:45 300会議室

## まとめの全体会

オプションツアー

# ユネスコ食文化創造都市 臼杵市をご案内します

「給食畑」から「ほんまもん農産物」へと進化を続ける  
臼杵市学校給食センター見学 &  
国宝臼杵石仏とキリシタン大名大友宗麟の城下町散策

「国宝 臼杵石仏」で知られる臼杵市。戦国武将 大友宗麟が築城した「臼杵城跡」や狭い路のいたるところに量感溢れる門構えの武家屋敷跡が並ぶ「二王座歴史の道」など、情緒あふれるスポットが満載です。400年前の町割りがそのまま現代につながっているのも魅力の一つです。臼杵市の学校給食は有機農産物を取り入れていることに加え、25品目のアレルギー対応食を作っています。現時点では、約42%が臼杵産で、そのうち「ほんまもん農産物」の使用率が令和5年度で25%です。そして臼杵食自慢の「うすき夏ふぐ」もこの機会にぜひご堪能ください。



臼杵石仏



臼杵 ほんまもん野菜



臼井 ふぐ



臼井 城下町

8/24 (土)

集合 13:00  
コンパルホール一階玄関前

現地 14:00~14:40 国宝臼杵石仏  
視察 15:10~16:00 臼杵市学校給食センター  
16:10~17:30 城下町臼杵街並散策

解散 18:30 大分駅  
参加費 5,000円 (バス代、拝観料)

定員 40名  
申込締切 7月31日まで

おすすめ夕食  
希望者は18時から  
山田屋の夏ふぐコース料理 (10,000円税込・飲み物別) へご案内します。